

1. 活動の名称

「イチモンジタナゴの保護繁殖活動」

2. 活動の概要

目的・目標	浄化した工業廃水を利用し、環境省の絶滅危惧種であるイチモンジタナゴの保護繁殖活動を行うことで、社員や地域の人々のコミュニケーションづくりと生物多様性について学ぶ機会を提供しています。
活動エリア	オムロン野洲事業所内ビオトープ
活動の参加者	滋賀県立琵琶湖博物館、株式会社ラーゴ、東海タナゴ研究会、オムロン株式会社
活動時期	通年 2009年10月～現在

3. 取組内容

琵琶湖博物館と株式会社ラーゴ、東海タナゴ研究会、オムロン野洲事業所の協働により、オムロン野洲事業所に設置したビオトープ「ほてじゃこの池」で、環境省が絶滅危惧IA類に指定している「イチモンジタナゴ」の保護・繁殖に取り組んでいます。

2011年4月に雄雌15匹ずつ放流したイチモンジタナゴは、200匹以上に増え、同時に、地域の水辺環境の原風景復元も進んでいます。植物種数、昆虫種数は年々増加し、特に昆虫においては、準絶滅危惧種に指定されている「コオイムシ」や「コガムシ」が確認されています。

こうした成果を、地元野洲市や滋賀県で開催されたビオトープ研究会や水環境フォーラム、秋篠宮殿下ご臨席の淡水魚シンポジウム、湖南甲賀環境協会主催の環境トップセミナーなど公の場で発表しました。

また、2013、2014年夏には、ビオトープ設置の目標の一つであった環境学習として、従業員家族を対象に「自然観察会」を開催しました。

近隣企業の皆様にビオトープを見に来ていただいたり、他社のビオトープの見学を通じて、企業間の交流も活発化してきました。

http://www.omron.co.jp/about/csr/environ/biodiversity/bio_active/



4. 今後の課題・将来像等

<今後の課題>

- ・今回の受賞を契機に、今まで以上に、地域の皆様とビオトープを通じてコミュニケーションができるようなイベントなどを開催していきたいと思っております。
- ・現在は、日常の維持管理作業は、株式会社ラーゴとオムロン株式会社野洲事業所の人事総務部門が中心になって活動しておりますが、近隣でビオトープ管理を経験してみたいという方がおられましたら、ぜひ、お声がけください。
- ・近隣の学校の授業やクラブ活動の一環でビオトープを見学したいというご希望があれば、ぜひ、一度、オムロン野洲事業所までお気軽に連絡してください。

<「ぼてじゃこの池」のめざす姿>

- ①絶滅危惧種イチモンジタナゴの繁殖への貢献の場
- ②従業員の参加などにより、環境について学べる場
- ③ビオトープに愛着を感じ、癒しの空間となることで、よりよい就業環境を提供する場
- ④地域の子供たちへの環境学習会などを通じて、子供たちへの郷土の自然に対する愛を育む場
- ⑤多様な関係者間の交流から、自然環境を媒体とした「人と人とのつながり」を感じられる場
- ⑥ぼてじゃこの池から地域の生物多様性の向上を目指す

5. 連絡先等

〒520-2362 野洲市 市三宅 686-1
オムロン株式会社 野洲事業所 小野 健一
TEL (077) 588-9147
E-mail : kenichi_ono@omron.co.jp